

校長・副校長・
教頭先生に役立つ!



【発行日】 平成30年6月29日
【発行者】 茨城県教育庁就学前教育・家庭教育推進室
電話 (029) 301-5132

【取材・編集】 一般社団法人 子育てネットワークままもり

すくすく育て いばらきっ子

就学前教育・家庭教育推進室だより

「家庭教育ブックひよこ 実践プログラム集」ができました!

この度、平成29年度の「家庭教育ブックひよこ」活用モデル事業の成果として、「実践プログラム集」が完成いたしました。「ひよこ」のページに合ったプログラムの進め方の例やワークシート等、そのまま活用していただける資料が添付されています。幼児教育施設や市町村において、就学前の子をもつ保護者向け講座等を実施する際にぜひご活用下さい。また、茨城県教育委員会ホームページにも掲載しております。

(<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/syogai/katei/book.html>)

ダウンロードしてご活用ください。

ひよこ 実践

検索

また、たくさんの幼児教育施設で活用していただくため、本年度は、各幼児教育施設に講座時の貸出用として保管して活用していただけるように、この「実践プログラム集」1部と「家庭教育ブックひよこ」25部を送付いたします。

【平成30年度モデル市町村及び協力幼児教育施設】

市町村	幼児教育施設
東海村	村立村松幼稚園／村立舟石川保育所
日立市	茨城キリスト教大学附属認定こども園みらい園／せいじ園
鹿嶋市	市立高松幼稚園
美浦村	村立美浦幼稚園／村立大谷保育所／村立木原保育所
八千代町	学校法人ルンビニー学園たちばな幼稚園



「見え方」についてご心配やお困りの方 ご相談ください

県立盲学校 早期教育では「見え方」に心配のある0歳～就学前までのお子さんの相談を行っております。少しでもご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。本校の他、遠隔地に住む見えにくさのある乳幼児を対象にサテライト教室を行っています。(県南地区：荃崎保健センター、鹿行地区：鹿嶋市まちづくり市民センター) ※ 詳しくは盲学校のホームページをご覧ください。

茨城県立盲学校 視覚障害教育支援センター

〒310-0055 茨城県水戸市袴塚1-3-1

TEL 029 (221) 3388 FAX 029 (25) 4328 E-mail: shien@ibaraki-sb.ibk.ed.jp



盲学校ホームページ
QRコード

小学校における 校内研修支援のお知らせ



今年度、「幼児教育と小学校教育の接続のための研修会」の中で、新たに小学校教職員を対象として家庭教育を踏まえた幼児教育の理解促進に向けて校内研修支援を実施します。

内容は、「就学前教育の重要性」、「接続カリキュラムの見方・活用方法」及び「子どもの育ちと学びの連続性に向けて」です。6月15日に各市町村教育委員会に実施要項及び申込書を配布いたしました。各小学校からの申し込みをお待ちしております。



鹿嶋市立三笠小学校（4/25） 学級活動

幼児教育施設で学んだ食事のマナーや当番活動の仕方を生かしながら、小学校の給食に興味・関心をもってみんなで楽しく食べたり、準備や片付けができるようになったりすることをねらいとして行われました。食事のマナーや当番活動について、担任や栄養教諭が「覚えているかな。」「保育所や幼稚園のときにもやったことがあるよね。」など、幼児教育施設での経験を大切に言葉かけをたくさんすることで、これまでの育ちと学びをつなげました。小学校での白衣のたたみ方などについては、「三笠スタイル」を基に、担任や栄養教諭が円滑な接続に向けて丁寧な指導を行ってきたことで、自主的に、自信をもって活動する1年生の姿が見られました。



自分たちで白衣をたたんでいる様子

美浦村立木原小学校（5/25） 生活科&国語科

生活科では、幼児教育施設での「美浦の子どもの望ましい姿 MIHO STEP」で示されている「自分の思いを伝え、友達の話を聞く」の項目を生かし、2年生と学校探検して見つけたものを「見つけたよカード」を使い、友達に見せながら伝えました。その中で、においや音など感じたこととともに、発見したことを互いに認め合う姿が見られ、友達と進んで関わり、互いのよさを生かしながら学習に取り組みました。

国語科では、教材「とんこととん」が音を題材にしているので、幼児教育施設で慣れ親しんだリズム打ちを導入で行い、学習への意欲を高めました。これにより、物語のあらすじや登場人物の心情、場面の様子を捉える学習活動に積極的に取り組み、読み取ったことを音読に生かしていました。



物語の音読の工夫を教師と共に考える様子

八千代町立川西小学校（6/7） 算数科

幼児教育施設で行った「数を用いたゲーム」を、算数科の「たし算ゲーム」に生かし、遊びの中でたし算を使って、楽しみながら学習に取り組みました。児童は、ボーリングや輪投げ、玉入れなど、6つのたし算ゲームを通して、立式をしたり解決方法を見出したりするなど、友達と協力しながら活動しました。さらに、答え合わせの場面では、先生や周りの友達に聞くなど、接続カリキュラムの「学びに向かう力」「生活上の自立」「心の成長」との関連を図った指導の展開がなされました。また、ゲーム終了の合図を耳になじんだ音楽で知らせるなどの工夫も見られました。



机や椅子を使わずに話を聞く様子

日立市立中小路小学校（6/20） 生活科

導入では、幼児教育施設で学んだ童謡「しゃぼんだま」の遊び歌を通して意欲を高めた後、「じまんのしゃぼんだまをともだちにつたえよう」というめあてを確認し、しゃぼん玉作りの発表を行いました。子どもたちは、大きなしゃぼん玉や割れないしゃぼん玉について、描いた絵を用いて説明し、実演をしながら、自分の思いや考えを友達に伝えていました。特に、幼児教育施設で行ったしゃぼん玉作りやお店屋さんごっこを生かした学習や発表は、幼児教育施設で経験してきた学びを小学校教育へ接続することを意識したものでした。子どもたちは、皆笑顔で主体的に授業に取り組みしていました。



一度にたくさん作る方法を実演する様子

東海村立中丸小学校の公開授業につきましては、4月号に掲載しています。